

平成26年度

事業報告書

社会福祉法人

伊那市社会福祉協議会

平成26年度 伊那市社会福祉協議会主要事業報告

伊那市社会福祉協議会では、「ふれあい、支えあい、助け合う、お互い様の地域づくり」を重点目標に、各種福祉サービス事業の実施、地域福祉活動の充実・推進に取り組んで参りました。

事業の概要

(1) 地域福祉推進事業等

地域における住民参加の福祉活動推進を図るため、地区社協及び地域社協の活動を支援すると共に、引き続き、末組織地域の地域社協設置に努めました。

「いきいきサロン」や「にじいろサロン」など地域福祉推進事業は、1,267件の開催がありました。また、生活上の困りごとを地域の支えあいで解決する「あったかご近所ネット」は新たに2地域で取り組みが始まり、「あそび場発掘プロジェクト」も一昨年の実績を上回る利用者があり、地域に定着しつつあります。

さらに、ボランティア登録者は、グループ登録と個人登録を合わせて3,603名となり、昨年度より329名増加しました。

新規事業として、地域社会から孤立する人に対し、自分らしい生きがいや出番を見つけ、社会参加を促すことを目的として「社会的孤立者居場所支援事業（ぷりむら）」を開設したところ、延べ1,718名の利用がありました。

また、長野県社会福祉協議会が受託した、低所得者や複合化課題を抱える生活困窮者の生活や就労の相談及び、生活再建のためのモデル事業「まいさぼ伊那」を行うにあたり、職員の派遣及び事業所の使用について支援を行いました。

(2) 介護保険事業等

介護保険事業は、平成24年度の制度改正及び介護報酬改定の影響、並びに、近隣地域内における民間事業者の参入の進行及び平成24年度以降の特別養護老人ホームの新設及び増床の影響等により、経営状況は昨年度から引き続き、より一層厳しさを増しました。

介護保険事業全体で、収入額は前年度比8.0%減の428,946,916円、支出額は前年度比8.7%減の454,345,003円となり、収支差額は25,398,087円の大幅な赤字となりました。収支差額の前年度対比は、金額で5,928,233円の増の結果となりました。

利用者の減少傾向が大きい通所介護及び短期入所生活介護は、利用者の確保に最大限努力しましたが、これら施設系サービスの収支赤字額は19,127,318円となり、介護保険事業全体の赤字額の75.3%を占める結果となりました。

市民に真に求められ、市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるための支援を推進するため、介護従事者の専門性や資質の向上により一層取り組み、利用者のニーズに沿った質の高いサービス提供に努めなければなりません。

さらに、平成27年度の介護保険の制度改正及び報酬改定により、各サービス事業とも基本報酬が削減され、平成27年度は当初予算において本会始まって以来の赤字予算を組まざるを得ない状況となっています。今後の経営改善は容易ではないと言わざるを得ず、介護保険制度の動向や周辺での他事業者による介護保険施設の設置動向、今後の地域ニーズなどを分析する中で、介護保険事業に係る経営方針の抜本的な見直しが必要となっています。

(3) 障害者就労支援事業等

障害者総合支援法に基づく就労継続支援等の事業の経営は、新たな利用者の受入れ及び現利用者が安定して通所利用できるための支援の充実を進めた結果、各事業所の経営状況は引き続き概ね安定し、福祉事業活動による収支では就労支援事業全体で、収入額は前年度比5.7%増の199,919,713円となったものの、支出額は前年度比11.4%増の161,590,505円となり、収支差額は38,329,208円の黒字となったものの、前年度比では5,891,734円減の結果となりました。支出額の増の要因は、計画相談支援を行う各事業所の兼務職員の代替え職員人件費の増や老朽化した公用車3台の更新等に伴うものが主なものです。

施設外就労等の場の確保を進め、地元企業とのコラボレーションによる製品づくり等魅力ある自主製品の開発・販売、また共同受注・共同作業、外注商品の販売等に取り組む、利用者一人あたりの工賃については、3事業所の平均では前年度と比べ5.6%増の11,292円の結果でした。

平成26年度

一般会計事業報告書

社会福祉法人
伊那市社会福祉協議会

平成26年度 事業報告

1 社協の組織基盤の強化のために

(1) 社協組織の運営

法人組織の円滑な運営を推進するために、理事会・評議員会を開催しました。

また、監事の指導及び監査により執行の適正を期しました。

① 理事会

	開催年月日	出席者数	主要議案
1	平成26年5月28日	12	議 案 - 平成25年度伊那市社会福祉協議会一般会計事業報告及び決算について - 平成25年度伊那市社会福祉協議会障害者就労支援事業会計事業報告及び決算について - 伊那市社会福祉協議会定款及び定款施行細則の一部改正について（理事・評議員の定数変更） その他（報告事項） - 第9回伊那市社会福祉大会の参加について
2	平成26年6月19日	14	議 案 - 第9回伊那市社会福祉大会における被表彰者について その他（報告事項） - 厚生労働大臣感謝状の受賞について - 生活・就労支援センター「まいさぼ」の利用状況について - 社会的孤立者支援拠点施設「おりむら」の利用状況について - 広報、啓発活動 事業計画書（伊那市共同募金委員会運営委員会開催） - 平成26年度共同募金配分計画について
3	平成26年9月26日	15	（任期最終の理事会） 報告事項 - 経営基盤確立計画の進捗状況について - デイサービスセンター「春富ふくじゅ園」の指定管理について - 共同募金配分事業「敬老の日行事助成」について - 理事の選任状況について - 平成27年度新規職員採用について

4	平成 26 年 10 月 1 日	11	(新任理事の初回理事会) 議 案 1 会長の選任について 2 副会長の選任について 3 評議員の選任について その他 (報告事項) ・ デイサービスセンター「春富ふくじゅ園」の指定管理について
5	平成 26 年 10 月 24 日	10	協議事項 1 デイサービスセンター「春富ふくじゅ園」の次期指定管理について
6	平成 26 年 11 月 10 日	11	議 案 1 デイサービスセンター「春富ふくじゅ園」の次期指定管理について
7	平成 27 年 3 月 24 日	13	議 案 1. 定款の一部改正について 2. くつろぎの家の認知症対応型通所介護事業の休止について 3. 平成 27 年度伊那市社会福祉協議会一般会計事業計画及び予算について 4. 平成 27 年度伊那市社会福祉協議会障害者就労支援事業会計事業計画及び予算について 協議事項 第 2 次経営基盤計画について その他 平成 26 年度介護保険事業・障害者就労支援事業の収支決算見込みについて

②評議員会

	開催年月日	出席者数	議決事項
1	平成 26 年 5 月 29 日	26	議 案 1 平成 25 年度伊那市社会福祉協議会一般会計事業報告及び決算について 2 平成 25 年度伊那市社会福祉協議会障害者就労支援事業会計事業報告及び決算について 3 伊那市社会福祉協議会定款及び定款施行細則の一部改正について (理事・評議員の定数変更) 4 理事の選任について (市議の改選による) その他 (報告事項) ・ 第 9 回伊那市社会福祉大会の参加について

2	平成 26 年 9 月 18 日	22	議 案 1 理事の選任について 2 監事の選任について その他（報告事項） ・経営基盤確立計画の進捗状況報告 ・デイサービスセンター「春富ふくじゅ園」の指定管理について ・共同募金配分事業「敬老の日行事助成」について
3	平成 26 年 3 月 27 日	27	議 案 1. 定款の一部改正について 2. 理事の選任について 3. 平成 27 年度伊那市社会福祉協議会一般会計事業計画及び予算について 4. 平成 27 年度伊那市社会福祉協議会障害者就労支援事業会計事業計画及び予算について 協議事項 第 2 次経営基盤計画について その他 平成 26 年度介護保険事業・障害者就労支援事業の収支決算見込みについて

③監査会

内 容	実施年月日
決算監査	平成 26 年 5 月 19 日
共同募金監査	平成 26 年 5 月 19 日
中間監査	平成 26 年 12 月 22 日

④正副会長会

	開催年月日	主要事項
1	平成 26 年 5 月 21 日	1 事業報告及び決算について 2 当面の日程について
2	平成 27 年 3 月 13 日	1 事業計画及び予算について 2 第 2 次経営基盤計画について 3 平成 26 年度収支決算見込みについて

(2) 社協会費の募集・還元

① 会費の募集

社会福祉協議会は住民参加による地域福祉推進を目指して、各種事業を行う公益法人であり、その活動は会員である住民の皆さんによって支えられています。

社協会費は、地区社協、地域社協の活動を推進する上で大切な財源の一つですが、近年会費収入は減収傾向にあります。地域への還元実態等、会費の使い道について、引き続き住民への働きかけが課題です。

会費総額：11,543,847 円（前年比 99.4%）

<平成 26 年度の会費納入実績>

（金額単位：円）

地区	一般会費		賛助会費		法人会費		合計	9/1現在 世帯数	市報世帯 配布数	世帯 納入率
	戸数	金額	人数	金額	件数	金額				
伊 那	4,419	2,638,453	57	57,000			2,695,453	7,355	5,480	81.7%
山 寺	782	475,153	13	14,000			489,153	1,210	1,025	77.6%
荒 井	1,093	602,200	7	7,000			609,200	1,405	1,274	86.3%
西 町	901	537,700	12	12,000			549,700	1,556	1,234	74.0%
中 央	590	353,191	10	10,000			363,191	1,030	729	82.3%
富 県	898	538,800					538,800	1,106	970	92.6%
美 郷	1,751	1,050,600					1,050,600	2,534	2,060	85.0%
手 良	612	367,200					367,200	788	670	91.3%
東春近	1,534	920,400					920,400	1,934	1,650	93.0%
西箕輪	1,514	908,400					908,400	2,607	1,710	88.5%
西春近	1,608	964,800					964,800	2,179	1,850	86.9%
高遠町	1,925	1,166,000	14	14,000			1,180,000	2,323	2,170	89.4%
長 谷	509	303,950	37	37,000			340,950	818	720	75.8%
その他		0			158	566,000	566,000			
合計	18,136	10,826,847	150	151,000	158	566,000	11,543,847	26,845	21,542	84.9%
対前年比	100.2%	99.9%	93.8%	94.4%	87.3%	91.1%	99.4%	100.4%	100.0%	100.1%
25年度	18,098	10,834,954	160	160,000	181	621,000	11,615,954	26,740	21,542	84.8%
24年度	18,287	10,957,305	169	169,000	176	607,000	11,733,305	26,858	21,539	85.7%
23年度	18,228	10,963,469	202	204,000	184	642,895	11,810,364	26,712	21,931	84.0%
22年度	18,474	11,074,251	145	145,000	149	539,000	11,758,251	26,712	21,931	84.9%

② 会費の還元

住民参加による地域福祉推進のため、各区等を単位として地区・地域社協を組織し、活動を行っています。会費の6割は、地区・地域社協の財源として、また、残りの4割は地域社協等で行っている、地域福祉推進事業の補助金として交付しました。

<平成 26 年度の会費還元実績>

(金額単位：円)

会費の種類	金 額	還 元 額		地域福祉推進 事業補助金
		地区社協	地域社協	
一般会費（世帯）	600	200	200	200
賛助会費（個人）	1,000	300	500	200
特別会費（法人）	3,000	1,000	1,500	500
還元額 合計		3,653,048	3,375,931	4,514,868
		11,543,847		

<地区・地域社協内訳>

(金額単位：円)

地区名	地区社協還元	地域社協還元
伊那	900,051	900,051
山寺	162,584	162,584
荒井	202,833	202,833
西町	182,833	182,833
中央区	120,730	120,730
富県	179,600	179,600
美篳	350,200	350,200
手良	122,400	122,400
東春近	306,800	306,800
西箕輪	302,800	302,800
西春近	321,600	321,600
高遠	388,200	133,967
長谷	112,417	96,533
合計	3,653,048	3,375,931

(3)その他法人運営

①財務、人事管理等組織関係全般の業務

- ・ 職員の労務管理
- ・ 給与規程の改正

②経営分析と財政基盤の整備検討

- ・ 社協会計経理全般と経営分析

③職員の健康保持、増進等健康管理

産業医…神山内科医院・職員衛生委員会の開催 12 回

(4)役職員研修等

①理事・評議員研修

- ・ 理事・評議員合同研修会 概要説明・各施設の見学

11月10日（月） 25人出席

②伊那市社協内職員研修

- ・一般職員研修会「2015年介護保険制度の改正について」 講師 小池課長
1月19日(月) 102人出席
- ・職員交通安全講習会
「伊那市の交通事情、交通ルールとマナー」
講師 栗澤 隆氏(伊那市役所生活環境課交通安全係長)
7月11日(金)、7月18日(金) 168人出席
- ・福祉まちづくりセンター避難訓練 9月29日(月)、3月10日(火)
- ・上伊那ブロック社会福祉協議会職員研修
「もうひとつのわたし」ー 趣味を生かす ー
講師 井内吉彦氏(元箕輪町教育委員長、伊那市「脳いきいき教室」講師)
12月3日(水) 44人出席
- ・メンタルヘルス研修会
「バランスコーディネーションで心身のストレスケア講座」
講師 西山知花氏
1月23日(火)、1月30日(金) 103名出席

2 お互い様の地域づくりを進めるために

(1)地域福祉推進事業

地域における住民参加の福祉活動推進を図るため、地区・地域社協の活動支援及び未組織地域の地域社協の設置に努めました。

①地区・地域社協の充実強化、地区福祉活動の振興支援

- ・地区、地域社協等への相談支援対応を強化し、昨年度より約28%増加しました。

地区相談対応件数

	総件数	うち訪問	うち来所	うち電話
H26	495	151	180	164
H25	386	148	126	112
H24	303	63	141	99

②地域社協の組織化の推進(高遠町、長谷地区)

- ・地域社協設立説明会開催 5回

高遠町民生児童委員会定例会(4/25)、下山田区説明会(6/27)

住みよい地域づくり担当者会議説明会(7/3)

四日市場地区説明会(8/23)、西高遠・東高遠区長会総会(2/26)

(全体116地区:伊那地区100社協、高遠町地区11社協、長谷地区5社協)

③地域福祉活動の推進

- ・地域福祉推進モデル事業の実施

「あったかご近所ネット」(モデル地区:日影地域社協、狐島社協、笠原社協)

既存の福祉制度やサービス対象にならない生活上の困りごとを、隣近所の住民がお互いに手を貸しあい、支え合う仕組みをつくる事業に取り組みました。

H25年度1ヶ所→平成26年度3ヶ所

「あそび場発掘プロジェクト」(モデル地区：小出島地域社協)

地域の中の公民館や空き家などを使い、子ども達が誰でも自由に遊べ、地域の人達が遊び相手になり、見守ってもらえる遊び場を作る事業に取り組みました。公民館を利用して、毎週水曜日と毎月第2・4土曜日(月1回はイベント開催)に実施。月平均98人参加し、のべ1,171人の参加がありました。

・平成26年度の補助金交付件数実績(補助金交付総額：7,459,791円)

積極的な広報や支援に取り組んだところ、地域福祉活動が活発に行われ、1,267件の活動が行われました。(平成25年度補助金交付総額：7,759,479円)

内容・項目	H24補助 実績件数	H25補助 実績件数	H26補助 実績件数
にじいろサロン(世代間交流事業)	37	37	38
すくすくサロン(茶話会)	18	18	10
すくすくサロン(会食会)	24	33	28
いきいきサロン(食事なし)	347	488	530
いきいきサロン(食事あり)	557	567	578
福祉懇談会・講習会・講座	84	96	34
災害時支え合いマップ作成、更新	20	11	10
広報紙の発行	30	25	26
特認事業	13	13	13
合 計	1,130	1,288	1,267

④伊那市社会福祉大会の開催

災害時の障害者支援の視点から講演を受け、災害を通して地域コミュニティの大切さを再確認するため、関係者をはじめ、広く住民の皆さんに理解していただくことを目的として開催しました。

・7/17(水) 県伊那文化会館小ホール 280人参加

・講演会「大規模災害に備えた地域の仕組みづくり」

<講師>八幡 隆司 氏(ゆめかぜ基金)

⑤地区・地域社協役員研修会開催

新しく地域社協の役員になった方に対して、これからの地域づくりやご近所の助け合いについて意識を深めてもらい、身近な地域での地域福祉活動について、地区・地域社会福祉協議会役員の皆さんに理解していただくことを目的として開催しました。

・2/19(木) いなっせ 6F ホール 200人参加

・地域福祉推進事業説明

・地域包括ケアシステムについて説明(伊那市地域包括支援センター)

・地域の助け合いモデル事業について(狐島区社協)

・講演会「あの日を決して忘れない ～復興への道～」

<講師>唐木 義則 氏(宮田村教育委員会 こども室 療育相談員)

⑥イベント機材の貸出し

地区、地域社協が行う地域福祉活動やボランティアの拡大と継続を支援するために、社協が所有するイベント用の機材を無料で貸し出しました。

＜貸出し用機材＞

かき氷機 1 台、ポップコーン製造機 1 台、綿あめ機 1 台、発電機 2 台、テント 6 張、室内バレーボール 1 台、ボーリング 2 台、魚釣りゲーム 2 台、ストラックアウト 1 台、ジェンガ 1 台、平台、プロジェクター等

＜貸出し実績 64 件＞（平成 25 年度 54 件）

（内訳：地区・地域社協 27 件、ボランティア団体 12 件、その他 25 件）

(2) ボランティア・地域活動応援センター事業

ボランティア登録者の増加を目指し取組んだところ、年度末の登録者は 3,603 人となり、昨年度より 10% の登録者増となりました。ボランティアサロンなど、気軽に活動できる場所の提供や、学生ボランティアへの働きかけ、シニア大学との連携が登録者の増加につながったと考えます。

① ボランティア育成支援

・ ボランティア登録数

ボランティアグループ・・・105 グループ（3,404 人）

（H25 年度 109 グループ：3,087 人）

個人ボランティア・・・・・・199 人（うち学生ボランティア 22 人）

（H25 年度：187 人）

② ボランティア派遣、需要調整

・ 派遣状況

内 訳	H24 年度		H25 年度		H26 年度	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
技術ボランティア （点訳・手話・朗読・技術指導）	16	21	18	22	19	26
傾聴ボランティア	40	40	36	36	48	48
行事等の手伝い （訓練・行事の応援等）	11	237	15	254	8	293
施設支援 （入所者への支援）	32	92	106	382	82	304
ボランティアサロン	48	452	55	412	53	385
合 計	147	842	230	1,106	210	1,056

③ ボランティア養成・研修事業

ア、奉仕員養成講座

- ・ 手話奉仕員養成講座 （全 36 回）受講者 13 人 修了者 12 人
- ・ 点訳奉仕員養成講座 （全 20 回）受講者 10 人 修了者 6 人
- ・ 要約筆記体験講座 （全 3 回）受講者 8 人
- ・ 音訳奉仕員養成講座 （全 1 回）受講者 12 人 修了者 12 人

イ、ボランティア講座、サロン等の開催

- ・ボランティアサロン（毎週火曜）53回 参加延べ人数 385人
- ・ふれあい交流イベント列車（10/25）参加者 66人
- ・施設ボランティア情報交換会（7/25）参加施設 20施設
- ・たかとお愛の会総会（3/12）参加者 48人

ウ、福祉体験学習の指導、助言

- ・小学校 12校（のべ 34回開催）、中学校 2校（のべ 9回開催）
- ・福祉教育副読本の学校への配布 11校 1,129冊
- ・中学生職場実習受入れ 2校（3人）
- ・夏休み学生向け福祉講座（7/28～8/6）参加者 24人（延べ 41人）

④ ボランティア実践校指定事業

- ・小学校：15校、中学校：6校、養護学校：1校（全 22校）

⑤ ボランティア研究集会の開催

- ・信州発ボランティア地域活動フォーラム
（上伊那ブロックボランティア交流研究集会及び、伊那市ボランティア研修集会を合わせて開催（11月8日・9日）伊那市より 48人参加

⑥ 災害ボランティアセンター関係

- ・災害ボランティアコーディネーター養成研修（8/9・31）参加者 9人
- ・災害ボランティアセンター支援（7/19）南木曾町 職員派遣 2人
- ・伊那市災害ボランティアセンター立ち上げに関する検討会 4回開催

(3) 広報啓発事業

市民の皆さんに福祉や社協に対する関心を高め、理解を深めていただくため、平成 26 年度から 28 年度まで 3 年間の「広報・啓発活動 事業計画書」を作成し、各種媒体を活用して効果的な広報事業に取り組みました。

また、各部署からふくし広報委員を選出して委員会を開催するなど、組織的な広報活動強化に努めました。

① 社協報「ふくし伊那」の発行 毎月、全戸配布・ 22,830 部

② 伊那 CATV 番組「きらきら☆ふくし」の放送

伊那ケーブルテレビにて、5 分の番組を作成し放映しました。年に 22 回更新、週 12 回放送しました。

③ 毎月 8 日は「福祉の日」の啓発

- ・有線放送 毎月第 1 火曜日 朝・夕放送

④ ふれあい広場の開催

- ・9/14（日）伊那市福祉まちづくりセンター 約 800 人参加

障害があっても、おしゃれを楽しんだり着脱しやすい工夫を凝らした、ユニバーサルファッションショーなどのステージ企画や、昔遊びのコーナー、スタンブラリー等、様々なふれあいの場が生まれました。

⑤伊那市社会福祉協議会ウェブサイトの運営

- ・サイトへの来訪者数を伸ばすため、SNS連動の発信型ウェブページの作成を専門家に委託し、サイトのリニューアルを図りました。その結果、リニューアル後は昨年度の210%の増加となる1ヶ月768人の訪問がありました。

(平成25年度月平均363人)

3 住民の悩みに対して

(1)ふれあい相談センター事業

市民のよろず相談に応じるために「心配ごと相談」の窓口を開設し、相談員が親身に市民からの相談に応じました。また、弁護士や司法書士と連携しながら専門的な相談にも対応しました。

- ・心配ごと相談実施報告(開設日147日)

開設日時：毎週 火・木・金 午前9時～午後5時

- ・司法書士法律相談(司法書士会伊那支部伊那分会に委託)

毎月 第1・3金曜日 午前9時～正午

- ・高齢者・障害者の財産管理相談(リーガルサポート長野伊那支部に委託)

毎月 第2金曜日 午後1時30分～3時30分

- ・弁護士無料法律相談：必要に応じて随時(市内6弁護士事務所に委託)

・相談件数 382件

分 類		件数(延べ)		
		H24	H25	H26
生活	生計問題	11	8	7
	負債・消費者問題	41	32	54
	職業・生業問題	4	5	5
	住宅問題	6	3	6
家族	家族問題	30	29	45
	結婚問題	3	2	2
	離婚問題	50	45	48
健康	健康・衛生・医療	7	0	1
	精神衛生	15	7	2
法律	人権・法律問題	80	74	67
	財産問題	67	92	103
	事故問題	14	16	19

分 類		件数(延べ)		
		H24	H25	H26
教育	児童福祉	1	0	0
	教育・青少年問題	1	0	1
福祉	心身障害者問題	0	0	0
	母子・父子福祉	0	0	0
	老人問題	0	1	1
その他	苦情問題	13	2	3
	隣人等との人間関係	17	3	0
その他	その他	28	23	18
合 計		388	342	382

上記のうち 弁護士へ紹介したもの 21件

司法書士に紹介したもの 95件

関係機関へ紹介したもの 38件

(2)日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

上伊那の「基幹的社協」として、判断能力の不十分な方の福祉サービス利用助成や金銭管理等のサポートを行いました。

平成 26 年度は新規契約者が 9 件あり、利用援助回数も増加しました。近年は精神障害者の利用増加により、さらなる件数の伸びが見込まれます。

		認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	合計
H26年度	実利用者数	10	20	32	0	62
	利用援助回数	156	651	730	0	1,537
H25年度	実利用者数	11	23	30	1	65
	利用援助回数	113	693	518	2	1,326
H24年度	実利用者数	18	22	20	0	60
	利用援助回数	394	434	433	0	1,261

(3)くらしの安心サービス事業(市社協事業)

身体的に外出困難な方を対象に、その方に代わって金銭の出し入れや公共料金の支払い等を代行しました。

- ・利用契約者数：7 人、（平成 26 年度新規契約者数：1 人）
- ・実利用者数：7 人、利用援助回数：63 回

(4)長野県生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

- ・新規相談受付件数

年度	相談件数（件）	利用件数（件）	貸付総額（円）
平成 26 年度	52	14	2,814,000
平成 25 年度	51	17	5,991,000
平成 24 年度	74	41	8,387,000

(5)世帯更生資金等貸付事業(市社協事業)

最小限生活に必要な資金（限度額 5 万円）を対象となる世帯に貸付けました。

- ・新規相談受付件数：3 件、貸付件数：3 件、貸付金額：130,000 円

（H25 年度：新規相談 2 件、貸付件数 2 件、貸付金額 100,000 円）

- ・貸付残額（H27 年 3 月末現在）：641,500 円（12 件）

(6)応急援護事業(共同募金配分事業)

①交通事故・災害・疾病・その他事故等により父または母を失った遺児等に、見舞金を支給しました。

- ・遺児等見舞金：7 件（115,000 円）

(7)上伊那成年後見センター事業

①成年後見制度や権利擁護にかかわる研修・啓発

ア、成年後見制度推進セミナーの開催（市民向けセミナーの開催） 150 人参加

- ・平成 26 年 11 月 26 日（水） 宮田村村民会館 大ホール

＜講演＞成年後見制度と日常生活自立支援事業

～地域で安心して暮らし続けるためのしくみ～

講師 平田 厚氏 弁護士／明治大学法科大学院教授

イ、県内、郡内の研修会への講師派遣

県内の様々な団体から講演や研修依頼があり、11 件の研修会に職員が講師として出席しました。

②成年後見センター利用件数

平成 25 年度に比べ、利用件数が 19% 増加しました。特に、法人後見人としての受任件数が伸びたため、法人後見人業務が増加しています。

年度	利用 件数	成年後見制度 利用対象者	対象者内訳			
			認知症	知的障害	精神障害	その他
H26	1,654	1,577	730	364	476	7
H25	1,389	1,337	797	274	262	4
H24	886	784	527	44	200	13

総利用件数 1,654 件内訳

1) 成年後見・権利擁護相談業務 215 件

2) 法人後見人業務 1,439 件

③市民後見人（法人後見生活支援員）講座の開催

認知症高齢者・障害者の地域生活支援について理解と熱意のある郡内住民の方を対象に、成年後見人等の活動に必要な基礎知識を習得し、将来的に権利擁護・地域福祉の担い手として活動できる市民後見人を養成することを目的として開催しました。

10 人の申し込みがあり、8 人が修了となりました。うち、2 人が法人後見生活支援員として活動を行っています。

・開催日程 平成 26 年 10 月 1 日（水）～10 月 29 日（水）

毎週水曜日・全 5 回 9:00～16:15

④法人後見の受任

・法人後見受任ケース 43 件（平成 25 年度末 27 件）

(8)社会的孤立者居場所支援事業(ぷりむら)

障害の有無や年齢等で対象者を限定しない、誰でもが集う事ができる「居場所」をつくり、地縁、血縁、職縁等の希薄化により地域社会から孤立する人に対して、自分らしい生きがいや出番を見つけることにより、社会参加を促すことを目的として開設しました。口コミで利用者が増加し、一日平均 12 名の利用がありました。

当初はスタッフとのつながりが多かったのですが、利用者同士のつながりも増え、社会参加へ一歩踏み出す姿が見えはじめています。

・開催日 月、火、木、金（祝日・休館日等を除く）午前 9:00～17:00

・利用内訳

開 所 日	利用者数		内訳									
			住所			性別		年齢				
	延べ数	うち 実数	市内	市外	不明	男性	女性	20 歳 以下	20～ 39	40～ 65	65 歳 以上	不明
184	1,718	135	1,621	97	0	1,160	558	15	439	633	618	13

(9)信州パーソナル・サポート・モデル事業(まいさぽ伊那)

伊那市と長野県から長野県社会福祉協議会が委託を受け、生活困窮者自立支援法のモデル事業を行うにあたって、職員の派遣及び事業所の使用について支援を行いました。生活保護に至る前の低所得者や、複合化した課題を抱える生活困窮者の生活や就労の相談及び、生活再建のための伴走的支援を行いました。

- ・相談数 相談延べ数 409 人（うち実人数 202 人）

- ・主な相談内容について（延べ対応件数）

- ・求職、就職について 120 件
- ・収入、生活費について 59 件
- ・病気や健康、障害について 57 件

4 住民の皆さんの様々な福祉ニーズに応えるために

(1)高齢者福祉事業

①脳いきいき教室事業（市受託事業）

高齢者の生きがい対策と転倒骨折予防・筋力低下予防・閉じこもり予防・認知症予防等を目的に、概ね 65 歳以上の方に対して、市内の老人憩いの家や公民館を会場として、個別サービス計画に基づいて、介護予防体操等の指導や継続的な活動の支援等を行いました。延べ参加者数は前年度対比で 6.7%増加しましたが、実参加者数は 1,597 人と目標（1,680 人）には達しませんでした。

地 区	H24 年度		H25 年度		H26 年度	
	開催回数	延参加者数	開催回数	延参加者数	開催回数	延参加者数
伊 那	2,156	22,595	2,330	23,783	2,510	25,666
高遠町	379	2,242	403	2,470	391	2,438
長 谷	101	574	103	501	91	454
合 計	2,636	25,411	2,836	26,754	2,992	28,558

②高齢者住宅生活支援事業（市受託事業）

高齢者生活福祉センターくつろぎの家（居住部門）に生活援助員を常駐させ、居住者の生活相談や健康相談、必要時の家事援助の支援を行いました。また、長谷高齢者専用住宅の管理を行いました。

（入居者数：H27.3.31 現在）

区 分	戸数	H24 年度	H25 年度	H26 年度
くつろぎの家（居住部門）	11	13	8	10
長谷高齢者専用住宅	8	9	9	8

③市単ホームヘルプサービス事業（市受託事業）

介護保険の対象外等の方で、介護等を受けることができない高齢者宅を訪問し、家事援助等を行いました。

区 分		H24 年度	H25 年度	H26 年度
訪問介護センター伊那	利用実人数	6	8	6
	延訪問回数	176	242	277
訪問介護センター高遠	利用実人数	1	0	0
	延訪問回数	50	0	0

④市単短期入所事業（市受託事業）

冠婚葬祭等、急に家庭においての介護が困難になった方を対象に短期による一時保護事業を実施しました。

施 設	区 分	H24 年度	H25 年度	H26 年度
やすらぎの家 (定員 1 名)	開設日数	1	7	3
	延利用人数	1	7	3
	1 日平均利用者数	1	1	1

⑤敬老の日行事助成事業

敬老会事業を行った地区への助成金を交付しました。（75 歳以上高齢者 1 人当たり 480 円（内 200 円社協負担...共同募金配分事業、280 円市負担）

・ 81 地区 計 5,178,240 円 （H25 年度 79 地区、計 5,363,500 円）

(2)障害者福祉事業

① 地域活動支援センター事業（市受託事業）

在宅の障害者が通所して、創作活動・文化活動・機能訓練を行いました。延べ参加者数は前年度対比で 2.8%増加し、1 日当たり平均参加者数は 17.2 人でした。

教 室 名	H24 年度		H25 年度		H26 年度	
	回数	延利用者数	回数	延利用者数	回数	延利用者数
絵手紙	11	52	12	58	12	60
手づくり	12	24	10	20	10	28
料 理	46	221	45	202	42	193
生き生き	24	101	25	91	24	99
俳 句	12	40	12	36	12	43
囲 碁	47	193	47	186	46	159
ステップジャンプ	32	75	35	81	35	91
カランコ織り	24	142	23	133	23	152
卓 球	—	—	44	276	41	278
文化刺繍	22	61	24	58	21	59
生活訓練	47	280	47	203	47	252
パソコン	36	129	36	251	36	225
コーラス	44	653	45	758	47	746
民 謡	21	141	21	104	22	105
お茶会	—	—	10	58	10	53
しあわせの会	—	—	10	211	11	259
合 計	378	2,112	446	2,726	439	2,802

②身体障害者訪問入浴サービス事業（市受託事業）

家庭において入浴することが困難な身体障害者に対して、移動入浴車で入浴サービスを提供しました。

区 分	H24 年度	H25 年度	H26 年度
実利用者数	—	2	2
延訪問回数	—	42	63

③福祉車両貸出事業

車椅子利用者・寝たきりの人・重度視覚障害者を対象に福祉車両を貸出し、生活圏の拡大を図りました。

	H24 年度	H25 年度	H26 年度
貸出し回数	194	239	131

④福祉マイクロバス運行事業

福祉団体、地域社協や地区社協の利用を図りました。

	H24 年度	H25 年度	H26 年度
貸出し回数	178	160	160

(3)その他

①ママヘルプサービス事業（市受託事業）

家事や育児の支援を必要とする産褥期の母親のいる世帯にヘルパーを派遣しました。

区 分	H24 年度	H25 年度	H26 年度
実利用者数	7	7	8
延訪問時間数	125	101	155

②母子・父子家庭等福祉事業

交通災害遺児見舞金及び就職激励金支給 見舞金支給：0 件 激励金支給：0 件

5 その他

(1)共同募金関係事業

①社会福祉法人長野県共同募金会伊那市共同募金委員会

・募金目標額：12,500,000 円、募金実績額：11,945,188 円（達成率：95.56%）

（H25 年度：目標金額 13,000,000 円、募金実績額 12,343,695 円）

募金種類	募 金 額 （円）		
	H24 年度	H25 年度	H26 年度
戸別募金	10,596,249	10,449,856	9,928,024
街頭募金	118,597	121,813	129,706
法人募金	1,352,000	1,308,232	1,265,383
学校募金	147,775	113,246	96,014
職域募金	353,108	331,420	329,697
その他	81,737	19,034	196,149
繰越金（利子）	90	94	215

②共同募金配分事業

県共同募金会へ納めた平成 25 年度の募金実績 12,343,695 円の内、県内の社会福祉施設設備事業等に充当された残額から、伊那市社協へ配分された 8,072,695 円は、平成 26 年度は以下のように配分・活用しました。

項目	H24 年度		H25 年度		H26 年度	
	配分先等	金額(円)	配分先等	金額(円)	配分先等	金額(円)
敬老の日 行事助成		2,274,720		2,149,600		2,157,600
障害児・者 団体助成	団体 (9 団体・9 件) 施設 (1 施設・1 件)	607,143 (ひとり親家庭福祉会含む) 15,000	団体 (6 団体・6 件)	391,840	団体 (6 団体・6 件)	391,819
	小計	622,143				
児童青少年 団体助成	ボラ (2 グループ・2 件)	100,000	ボラ (3 グループ・3 件)	241,000 (ひとり親家庭福祉会含む)	ボラ (4 グループ・4 件)	250,000
ボランティア 団体等助成	ボラ (23 グループ・23 件)	750,000	ボラ (14 グループ・14 件)	574,500	ボラ (17 グループ・17 件)	600,000
応急援護費		70,000		125,000		115,000
社協事業費	地区・地域福祉 活動助成等 ふくし伊那印刷 費	4,768,355	地区・地域福祉 活動助成等 ふくし伊那印刷 費	4,883,616	地区・地域福祉 活動助成等 ふくし伊那印刷 費	4,558,276
	合 計	8,585,218	合 計	8,365,556	合 計	8,072,695

(2) 善意銀行

○ 寄付金

	H24 年度	H25 年度	H26 年度
件 数	26	22	25
金 額	595,582	679,456	561,495

(3) 伊那市福祉まちづくりセンター「ふれあい～な」の管理事業(市受託事業)

地域活動支援センター事業を初め、各種会議や講座研修等、大勢の方々が利用しました。

事業名	H24 年度		H25 年度		H26 年度	
	回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数
地域活動支援 センター事業	369	3,481	470	2,742	364	2,168
講座・研修等	78	900	69	687	98	2,333
ボランティア関係	670	6,113	1,163	8,500	743	4,449
会議・集会等	762	9,124	799	9,035	441	6,333
福祉相談関係	3	22	25	94	453	1,975
クラブ関係	603	6,543	604	6,626	577	5,664
身障者団体	264	3,121	334	4,173	485	5,023
合 計	2,749	29,304	3,464	31,857	3,161	27,945

6 介護保険及び障害福祉サービス事業(収益事業)

(1) 居宅介護支援事業

介護サービスを総合的かつ効果的に利用するためのケアプランを作成しました。地域のあらゆる社会的資源とタイアップしながら適切なサービスが提供されるように努めました。

長期入所系施設の充実等により居宅介護支援ケアプラン作成件数が減少した一方、伊那市から受託する軽度者への介護予防支援ケアプランの作成件数の増加が顕著です(前年度対比 21%増)。

区 分	H24 年度	H25 年度	H26 年度
居宅介護支援ケアプラン作成件数	4,656	4,439	4,285
介護予防支援ケアプラン作成件数	564	650	788
ケアマネ一人あたり件数/月	36.6	32.6	33.9

※研修、実習

- ・ 社協ケアマネ研修、市ケアマネ研修 … 52 回
- ・ 外部研修 … 16 回
- ・ 実習生受入 … 2 人

(2) 訪問介護事業

- ① 介護保険サービスとして、ホームヘルパーが利用者のお宅を訪問し、要介護等高齢者に対して身体介護や家事援助を行いました。

訪問介護センター伊那では、要介護度が高く身体介護が中心の利用者の多くが体調を崩して入院し、退院後は長期入所に移行する等の状況が顕著で、延べ訪問回数は前年度対比で 13%の大幅な減少となりました。

一方、訪問介護センター高遠は、他の事業者が敬遠する山間地において積極的なサービス提供に努め、延べ訪問回数を前年度対比で 11%と大きく伸ばしました。

(利用実人数：H27.3.31 現在)

区 分		H24 年度	H25 年度	H26 年度
訪問介護センター伊那	利用実人数	109	116	92
	延訪問回数	20,105	19,084	16,711
	1 日平均訪問回数	55.1	52.3	45.8
訪問介護センター高遠	利用実人数	49	44	47
	延訪問回数	9,074	7,813	8,690
	1 日平均訪問回数	24.9	21.4	23.8

・研修、実習受入報告

区 分	訪問介護センター 伊那	訪問介護センター 高遠
研修・実習生(人)	18	3

- ② 障害者総合支援法の障害福祉サービスとして、ホームヘルパーが利用者のお宅を訪問し、障害者に対して家事援助や身体介護、同行援護の支援を行いました。

(利用実人数：H27.3.31 現在)

区 分		H24 年度	H25 年度	H26 年度
訪問介護センター伊那	利用実人数	35	37	34
	延訪問回数	4,222	4,017	4,305
訪問介護センター高遠	利用実人数	8	9	6
	延訪問回数	652	489	525

③ガイドヘルプ事業

障害者総合支援法の地域生活支援事業として、視覚障害者等の外出支援を行いました。

区 分	H24 年度	H25 年度	H26 年度
登録利用者数	6	3	5
延利用回数	40	43	49
登録ヘルパー数	4	2	2

(3)訪問入浴事業

利用者のお宅を入浴車で訪問し、入浴サービスを実施しました。夏場は利用回数が増える一方、冬場は体調の変化で入院、死亡の利用者が増える等の影響が顕著です。

(利用実人数：H27.3.31 現在)

区 分	H24 年度	H25 年度	H26 年度
実施日数	253	255	256
利用実人数	24	26	24
延訪問回数	1,434	1,502	1402
1 日平均訪問回数	5.7	5.9	5.5

(4)通所介護事業

- ① 介護保険サービスとして、身体上の疾病等または認知症のため、要支援・要介護状態にある高齢者を対象に、市内 4 カ所のデイサービスセンターにて日帰りによるサービス提供を実施しました。

市内において民間事業者による通所系、長期入所系事業所の新設等が進む中で、本会の各デイサービスセンターは利用者増に努めました。

しかし、くつろぎの家においては、高遠町地区への他の民間事業者の参入が進み、また、冬場のショートステイ利用や入院する利用者が例年に比べ大変多く、結果として延べ利用人数は前年度対比で 11% の大幅な減少となりました。平成 27 年度は認知症対応型通所介護事業を休止し、事業所の定員を 20 名に削減することとしました。

他のデイサービスセンターでは、提供するサービス内容を見直しながら、概ね前年度並みの利用結果となりました。

施 設	区 分	H24 年度	H25 年度	H26 年度
みその園 (定員 30 名)	開設日数	253	255	257
	延利用人数	6,827	5,473	5,504
	1 日平均利用者数	27.0	21.5	21.4
春富 ふくじゅ園 (定員 30 名)	開設日数	253	256	257
	延利用人数	6,492	6,237	6,175
	1 日平均利用者数	24.7	24.4	24.0
くつろぎの家 (定員 27 名)	開設日数	304	307	308
	延利用人数	5,671	5,174	4,653
	1 日平均利用者数	18.7	17.7	15.7
やすらぎ (定員 20 名)	開設日数	253	255	257
	延利用人数	3,311	3,347	3,557
	1 日平均利用者数	13.1	13.1	13.8
計	延利用人数	22,301	20,231	19,889

・研修、実習、ボランティア等受入報告

	みその園	春富ふくじゅ園	くつろぎの家	やすらぎ
研修・実習生(人)	8	12	11	5
視 察(回)	3	0	2	0
ボランティア(団体・個人)	72	81	68	43

- ② 障害者総合支援法の基準該当障害福祉サービスとして、デイサービスセンターくつろぎの家において、身体障害者に対する入浴や食事等の生活介護サービスを提供しました。

なお、みその園及び春富ふくじゅ園においても事業所指定を受けましたが、利用の実績はありませんでした。

区 分	H24 年度	H25 年度	H26 年度
実利用者数	1	1	1
延利用者数	100	98	98

(5)短期入所生活介護

家庭において介護が困難になった要支援・要介護状態にある方を対象に短期による宿泊を実施し、介護者の負担の軽減を行いました。

春富ふくじゅ園については、施設の設備上の問題等により平成 25 年度末をもって短期入所生活介護事業は廃止し、その利用者はみその園を中心に受入れを進めましたが、市内では長期入所系事業所の新設等が進んでいることもあり、全体としては今後の利用者の増は見込みにくい状況です。

施 設	区 分	H24 年度	H25 年度	H26 年度
みその園 (定員 8 名)	開設日数	365	365	365
	延利用人数	3,127	2,602	2,341
	1 日平均利用者数	8.0	7.2	6.4
春富 ふくじゅ園 (定員 8 名)	開設日数	365	365	
	延利用人数	2,546	2,056	
	1 日平均利用者数	7.0	5.6	
やすらぎ (定員 9 名)	開設日数	365	365	364
	延利用人数	3,008	2,656	3,038
	1 日平均利用者数	8.3	7.3	8.3

平成26年度

障害者就労支援事業会計事業報告書

社会福祉法人

伊那市社会福祉協議会

平成26年度 事業報告

各事業所では、中央病院や市役所等での定期的な販売会を継続し、利用者が製作した自主製品や外注商品等の販売に力を入れました。さらに施設外就労等の受入れ先を多く開拓するとともに、官公需の作業、また「製造業ご当地お土産プロジェクト」や地元企業とのコラボレーションによる製品づくりに積極的に取り組み、利用者の工賃アップに努めました。

全体として、企業からの受注作業や施設外就労、外注商品販売による収入が増え、利用者の平均工賃額は上昇しましたが、自主製品の売上げはやや不調であったため、実施の研究を進めているインターネットを介した販路等を新たに開拓する必要があります。

各事業所とも利用者の障害が多様化する中、個々の利用者の特性に合った支援体制づくりに努め、各事業所とも利用実績を伸ばしました。

延べ利用人数の伸び率は、前年度対比でみると、ゆめわーくは4.6%、輪っこはうす・コスモスの家の就労継続支援B型は7.9%、生活介護は6.9%、さくらの家は1.8%と、それぞれ増の結果でした。

(1) 年間利用者数

事業所		区 分	H24年度	H25年度	H26年度
就労継続支援B型	ゆめわーく	開設日数	242	240	241
		延利用人数	7,010	7,453	7,794
		1日平均利用者数	29.0	31.0	32.3
	輪っこはうす・コスモスの家	開設日数	242	239	241
		延利用人数	6,477	7,063	7,618
		1日平均利用者数	26.8	29.6	31.6
	さくらの家	開設日数	241	240	241
		延利用人数	5,491	5,808	5,912
		1日平均利用者数	22.8	24.2	24.5
生活介護	輪っこはうす・コスモスの家	開設日数	242	239	241
		延利用人数	1,700	2,107	2,252
		1日平均利用者数	7.0	8.8	9.3

(2) 工賃実績（上段：1人当たり月平均（賞与分を含む）、下段：時給単価）

単位：円

事業所	H24年度	H25年度	H26年度
ゆめわーく	10,483	9,027	8,326
	154	133	125
輪っこはうす・コスモスの家	12,540	9,351	10,433
	266	204	222
さくらの家	11,661	13,696	15,118
	204	247	285

(以下、登録者数等は3月末の数字)

(3) 作業内容等実績

①障害者社会就労センターゆめわーく

- ・定員 30人 ・登録者数 35人
- ・作業内容 受注企業 13社(車部品前加工、段ボール折り他)
施設外就労等4社(車部品前加工作業、清掃作業、薪生産作業、農作業)
自主作業 (那谷織り、木工他)
- ・野外活動 4月 24日 お花見会 39人
5月 24日 障害者スポーツ大会 29人
9月 14日 ふれあい広場 33人
10月 3・4日 一泊研修旅行(千葉) 50人
- ・その他活動 4月 19・20日 ふれあいバザール 69人
12月 11日 クリスマス会 40人
1月 5日 新年会 43人
1月 27日 新年お茶会 94人
3月 12日 昼食会 63人
毎月1回 ゆめランチ
- ・視察、見学受入 3回
- ・実習受入 27人(伊那中、春富中、伊那養護学校、信州大、日本福祉大、長野大、伊那保健福祉事務所、保健委員)
- ・保健師による健康相談 年4回

②輪っこはうす・コスモスの家(B型)

- ・定員 30人 ・登録者数 50人
- ・作業内容 受注企業 8社(車部品前加工、箱組立、茸ボトル蓋洗浄、サクラコマ等組立 他)
施設外就労等 4社(清掃作業、農作業、薪生産作業、パン製造補助作業)
官公需 伊那市(区長・総代記念品、封筒点字プレス等)
自主作業 (革・ビーズ・布製品、盆ごぎ、名刺・年賀状・横断幕等各種印刷物)
外注商品販売 (花、パン、饅頭、おやき、干し柿、梱包資材、サクラコマ等)
- ・野外活動 5月 24日 上伊那障害者スポーツ大会 2人
6月 22日 日帰りバスハイク(名古屋) 2人
9月 14日 ふれあい広場
10月 18日 日帰りバスハイク(新潟方面) 4人
11月 9日 日帰りバスハイク(山梨方面) 13人
12月 11日 クリスマス会 10人
3月 26日 年度末昼食会 27人
3月 4日 イチゴ狩り 3人
- ・視察、見学受入 8回
- ・実習受入 35人(県看護大、伊那市保健委員、箕輪進修高、伊那養護学校、大学生)
- ・保健師による健康相談 年4回

③障害者社会就労センターさくらの家

- ・定員 30人 ・登録者数 32人
- ・作業内容 受注企業 11社（箱折り、ニット製品・自動車部品前加工、贈答箱詰め 他）
 施設外就労等 4社（清掃作業、薪生産作業、パン製造補助作業）
 自主作業 （お手ふき・ベビードレス、栗、袋製品、ビーズ、野菜・園芸品他）
- ・野外活動 4月 1日～25日 さくら祭り
 4月 28日 お花見外出 35人
 6月 4日 えごま種まき（ライオンズクラブと） 42人
 5月 24日 上伊那障害者スポーツ大会 17人
 8月 18日 お楽しみ外出（萱野高原） 30人
 9月 5日 バスハイク（富士サファリパーク） 36人
 9月 14日 ふれあい広場 13人
 11月 1日～9日 紅葉まつり
 11月 21日 施設見学（共立学舎） 34人
 3月 11日 ゆめごはん外出 33人
- ・その他活動 5月 14日 交流昼食会（ボランティア） 52人
 9月 6日 城下まつり 4人
 9月 28日 伊那市商工会祭り 6人
 10月 12日 南アルプスふるさと祭り 8人
 12月 1日 収穫祭 50人
 12月 11日 クリスマス会 27人
 1月 5日 新年会 31人
- ・視察、見学受入 5回
- ・実習受入 8人（高遠中、春富中、伊那養護学校）
- ・保健師による健康相談 年2回

④輪っこはうす・コスモスの家（生活介護）

- ・定員 9人 ・登録者数 13人
- ・作業内容 受注企業 2社（車部品前加工、茸ボトム蓋洗浄）
 自主作業 （革・ビーズ・布製品、盆ござ）
 外注商品販売 （花、おやき、野菜）
- ・野外活動 5月 7日 日帰りバスハイク（白樺湖） 1人
 5月 24日 上伊那障害者スポーツ大会 9人
 6月 22日 日帰りバスハイク（名古屋） 3人
 9月 14日 ふれあい広場
 9月 23日 日帰りバスハイク（諏訪方面） 3人
 10月 18日 日帰りバスハイク（新潟方面） 5人
 12月 11日 クリスマス会 8人
 3月 4日 イチゴ狩り 1人
- ・視察、見学受入 7回
- ・実習受入 22人（伊那市保健委員、箕輪進修高、伊那養護学校）
- ・嘱託医による健康相談 年2回
- ・保健師による健康相談 年4回

